

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市高浜町計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市高浜町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	324 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年4月20日
敷地面積	2,299 m <sup>2</sup>	作成者	岡本陸
建築面積	1,009 m <sup>2</sup>	確認日	2023年4月20日
延床面積	6,822 m <sup>2</sup>	確認者	仮屋健司

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 77%

③上記+②以外の 77%

④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.1
温熱環境	3.6
光・視環境	2.3
空気質環境	3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	2.2
非再生材料の	3.5
汚染物質	4.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
機能性を向上する設備機器を敷設し、温熱環境や建材の有害性に配慮した計画とすることで、長期的に良好な住環境を得られるよう努める。	特になし
<b>Q1 室内環境</b> 室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周辺部に緑地帯を設け、周辺地域に緑地景観を提供する
<b>LR1 エネルギー</b> 有効な採光・通風の確保のために、各住戸が外皮に二方向面するよう計画する	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない建材種別を採用する
	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0012

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市高浜町計画 新築工事					
	建設地	大阪府吹田市高浜町					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		